

教科名 (科目名)	地歴公民科 歴史総合	履修学年	1 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などが深まっている。
評価方法	○定期考査 ○単元テスト	○定期考査 ○単元テスト ○レポート・課題 ○話し合い・発表・振り返り	○定期考査 ○単元テスト ○レポート・課題 ○話し合い・発表・振り返り

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】明解 歴史総合 (帝国書院)
【副教材】明解 歴史総合ノート (帝国書院)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、準拠ノートを利用して進めます。その中で日本と世界の歴史のつながりを、教科書内の歴史年表や世界地図を活用することで理解が深まります。
 ○授業では、歴史用語を確認するだけでなく、グループワークや調べ学習を通して、歴史的事象の背景や原因、結果や影響などに着目し、生徒がそれぞれ興味・関心に基づいて積極的に授業に参加することが望ましい。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度	
1 学 期	4月	各地域の諸文明 I 歴史の扉 II 近代化と私たち ・江戸時代の日本と結びつく世界 ・欧米で生まれる国民国家 ・産業革命による欧米とアジアの変化	○単元テスト	○単元テスト	○発表・振り返り	
	5月					
	6月					
	7月					○期末考査
2 学 期	8月	・日本における近代国家の形成 ・帝国主義の影響と日本を含めた東アジア の変化 III 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第一次世界大戦とその影響 ・揺らぐ国際秩序と日本の行方	○単元テスト	○レポート	○レポート ○発表・振り返り	
	9月			○単元テスト	○単元テスト	
	10月			○単元テスト	○単元テスト	
	11月			○期末考査	○期末考査	○期末考査
	12月			○期末考査	○期末考査	○期末考査
3 学 期	1月	・揺らぐ国際秩序と日本の行方 ・第二次世界大戦とその影響 IV グローバル化と私たち ・冷戦で揺れる世界と日本 ・多極化する世界 ・グローバル化のなかの世界と日本	○単元テスト	○レポート ○単元テスト	○レポート ○発表・振り返り	
	2月			○学年末考査	○学年末考査	○学年末考査
	3月			○学年末考査	○学年末考査	○学年末考査